

# 第1章 石川県指定史跡上町マンダラ古墳群の概要とこれまでの保存修理事業

## 第1節 石川県指定史跡上町マンダラ古墳群の概要

史跡の名称 上町マンダラ古墳群  
指定年月日 昭和55年10月7日  
指定番号 史第17号  
指定面積 6,934㎡

### 史跡の概要

熊木川西岸に突出する舌状丘陵端部に位置する2基の前方後方墳からなる古墳群であり、2基とも扁平な方台状をなす主丘部（後方部）に小規模な突出部（前方部）を敷設する極めて初源的な形態を示し、前方後方墳としては最古の一群に位置付けられている。

1号墳は前方部を東南に熊木川下流域を望む形で立地している。全長約18m、前方部長さ約6m、同先端幅約6m、後方部長さ約12m、同幅約14m、くびれ部幅約3.5m、後方部北側からの高さ約1.6m、後方部とくびれ部の比高差約1m、後方部南側周溝幅約2m、同北北西側幅約3mを測る。

2号墳は1号墳の北北西約30mに位置する。主軸方向は1号墳とほぼ同じで、前方部を北北西にして対向している。全長約21m、前方部長さは約8m、同先端部幅約8m、後方部長さ及び同幅約13m、くびれ部幅約4m、後方部北北東側からの高さ約1.8m、後方部とくびれ部との比高差約0.8m<sup>※1</sup>を測る。

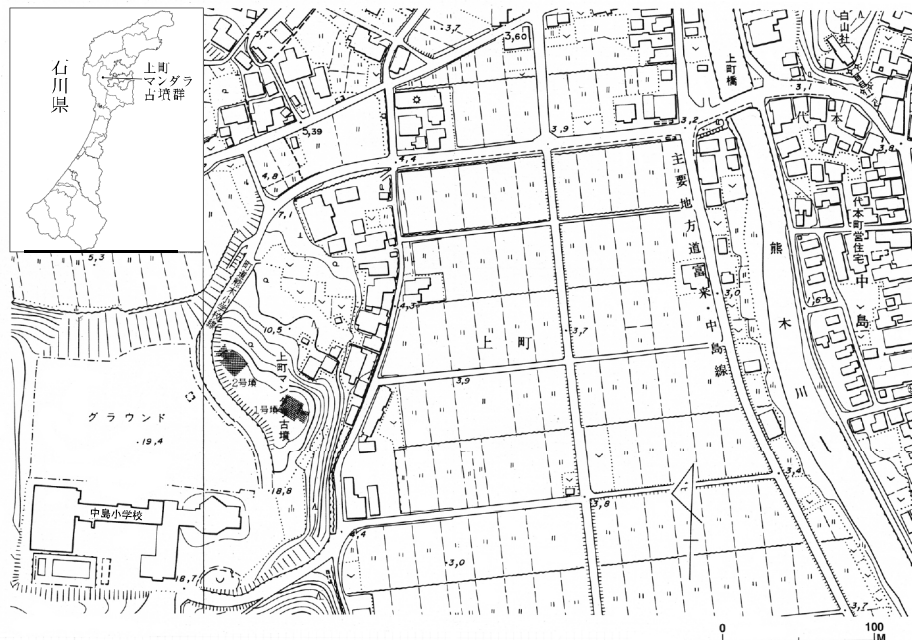


図1 上町マンダラ古墳群の位置 (1:5000)

## 第2節 これまでの保存修理事業

平成7年、大雨により表層崩落とそれに伴う災害復旧工事で前方部半分と後方部の一部を消失した。

それに伴う平成8年の発掘調査の際、周溝から古墳時代前期に比定される土器が出土した。

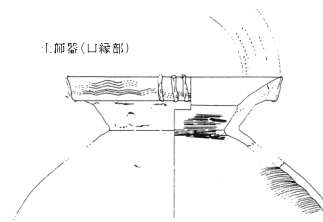


図2 平成8年の周溝出土の遺物実測図(1/6)

(上町マンダラ2号墳発掘調査報告書から転載)

また、平成27年度には1号墳北側斜面下部に、崩落防止を目的とした植生工を行った。



植生工完成(平成28年1月 北から)

内訳

植生工 112 m<sup>2</sup>

モルタル吹付工 11 m<sup>2</sup>

参考文献

※1「中島町史資料編上巻」(1995 中島町)

※2「上町マンダラ2号墳発掘調査報告書」

(1998 中島町教育委員会)

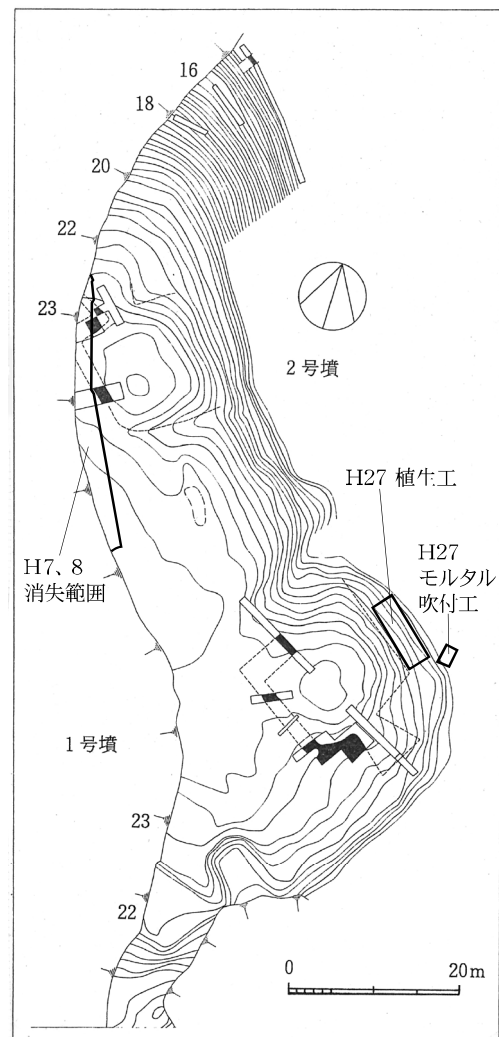


図3 これまでの保存修理事業の位置

(中島町史資料編上巻より転載加筆)

## 第2章 保存修理事業の経緯と経過

### 第1節 経緯

七尾市では平成30年8月31日に1日の降水量172.5mmを観測し、それに伴い熊木川が氾濫するなどの災害が発生した。石川県指定史跡「上町マンダラ古墳群」の内、2号墳の一部と隣接する市道熊木小学校線の道路敷の法面（2号墳側）が長さ13m、高さ2.5m、奥行き3.7mの範囲で表層崩落し、またそこから南に約20m離れた法面（南側）でも長さ13mの亀裂が生じたのはこの頃と考えられる。

七尾市教育委員会では9月4日に2号墳側の法面崩落の連絡を受けて、5日に現地を確認したときに、南側の亀裂部を把握した。また4日夜から5日にかけて台風21号が日本列島を近畿から北陸にかけて通過し、七尾市では最大風速29.1mを観測した。これにより重要文化財の座主家住宅や市指定文化財の赤倉神社拝殿に被害が生じた。

今後の降雨によるき損の拡大を防止するため、き損部分にブルーシートをかぶせ、9月10日付けで石川県教育委員会に県文化財保護条例に基づき、き損届を提出した。

### 第2節 経過

#### 平成30年度

七尾市土木課との現地打ち合わせ

10月2日、七尾市土木課員と現地確認をおこない、復旧工事の積算と工法設計を土木課に依頼することとなった。

#### 《要 点》

- ① 現状の擁壁は井桁で頑丈な造りであり、崩土も表層滑落で土圧により擁壁が破損する恐れはない。
- ② ブルーシートで崩土を覆う対応でよい。雨で土が少量流れるかもしれないが側溝に落ちる程度と思われる。
- ③ 工法は、法面整形し下部にかごを設置し、上部に植生工がよい。元通り土を戻してもまた崩れる可能性が高い。道路敷で用いる通常の土木の工法は安定勾配をとって設計するが、それでは上部の2号墳が消失する。

石川県文化財保護審議会の現地視察

10月19日、石川県文化財保護審議会 史跡・考古専門部会の委員（谷内尾晋司・高木政喜・大友佐俊）3氏が現地視察し、指導いただく。

## 《要 点》

- ① 植生工には外来種の種を使わないこと。
- ② 2号墳側の調査は周溝等の遺構が検出されると思われるので注意すること。また南側の亀裂部も、遺構が検出される可能性があるため注意すること。



石川県文化財保護審議会 史跡・考古専門部会現地視察

## 平成31年度（5月1日より令和元年）

通年でブルーシートでの養生を行い、強風などでめくれるとその都度スポーツ・文化課員が直す対応を行った。また、石川県への保存修理事業計画書の提出や土木課への工事実施設計等依頼など、令和2年度の事業実施に向けた作業を行った。

8月27日(火) 石川県に令和2年度指定文化財管理事業計画書を提出する。

令和2年1月31日 七尾市土木課に工事实施（当初）設計等依頼書を提出する。

## 令和2年度

4月1日(水) 上町マンダラ古墳群保存修理費補助金交付申請書と県指定史跡の現状変更許可申請書を石川県に提出。

4月28日(火) 上町マンダラ古墳群測量基準杭設置委託契約を(株)太陽測地社と契約。

5月26日(火) 上町マンダラ古墳群法面保護工事請負契約を(有)中村技研工業と契約。

7月13日(月)～15日(水) 上町マンダラ2号墳の平板測量。

(山本純也、北村雅康、竹谷真一(13、14日)、瀧本達也(15日))

7月16日(木)～22日(月) 2号墳側断面図作成。オーバーハングしている2号墳端部を落とし、断面精査を行った。

7月27日(月)～28日(火) 2号墳側の崩土除去工と法面整形工立会。

7月29日(水) 2号墳側法面整形工後の法面が崩れた。当初想定していたより深い場所まで亀裂が入っていたためと考えられる。現地で協議し、工法を変更してフトンカゴ2段から4段にし、崩土は裏込に使うこととした。

8月24日(月) 南側法面整形工事立会。

8月31日(月) 令和2年度第1回七尾市文化財保護審議会で調査及び工事の状況を報告した。

9月24日(木) 上町マンダラ古墳群法面保護工事の完成